

社会資本総合整備計画 事後評価

平成 28 年 12 月 26 日

計画の名称		1 安全・安心で快適な暮らしを支える下水道整備の推進							重点配分対象の該当												
計画の期間		平成23年度～平成27年度(5年間)			交付対象		豊橋市														
計画の目標		<ul style="list-style-type: none"> 合流式下水道の改善や老朽施設の適切な改築更新により、下水道施設の質的向上と機能の維持を図る。 汚水整備を推進して、生活環境の向上と河川や三河湾などの公共用水域の水質保全を図るとともに、市街地における雨水整備により、浸水のない安全安心な市民生活の確保を図る。 非常用発電設備の適切な改築更新により、自然災害などの非常時における必要な電源の確保を図る。 																			
計画の成果目標(定量的指標)		<ul style="list-style-type: none"> 合流式下水道改善率を21.1%(H21末)から24.2%(H25末)に増加。 下水道による都市浸水対策達成率を66.7%(H21末)から69.1%(H27末)に増加。 処理場及びポンプ場の非常用発電設備の更新率を0%(H23当初)から50%(H27末)に増加 																			
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値												
		当初現況値 (H23当初)		中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)		備考													
① 合流式下水道で整備された区域のうち、改善された区域の面積の割合 合流式下水道改善率(%)=(合流式下水道の改善された区域面積(ha))/(合流式下水道で整備された区域面積(ha))		21.1%		24.2%		24.2%															
② 都市浸水対策を実施すべき区域のうち、一定規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合 下水道による都市浸水対策達成率(%) =(一定規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha))/(都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))		66.7%		67.3%		69.1%															
③ H23年からH32年の10カ年で更新予定の発電設備のうち、更新された発電設備の割合 非常用発電設備更新率(%)=(更新された非常用発電設備の個数)/(更新予定の非常用発電設備の個数)		0.0%		50.0%		50.0%															
全体事業費		合計(A+B+C)		3,654百万円		A		3,558百万円		B		0		C		96百万円		効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)		2.6%	
事後評価																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制										事後評価の実施時期											
豊橋市上下水道局(営業課、下水道施設課、下水道整備課)で実施										平成28年12月											
										公表の方法											
										豊橋市上下水道局HP上にて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A1 下水道事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	備考		
											H23	H24	H25	H26	H27						
1-A-1	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	新設	吉田方排水区(浸水対策)	雨水管 L=1,500m	豊橋市						387					
1-A-2	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	増設	菰口ポンプ場(浸水対策)	ポンプ容量 6.5m³/s 1台	豊橋市						578					
1-A-3	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	増設	松島ポンプ場(浸水対策)	ポンプ容量 3.0m³/s 1台	豊橋市						227					
1-A-4	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	増設	有楽ポンプ場(浸水対策)	ポンプ容量 2.4m³/s 1台	豊橋市						156					
1-A-5	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	改築	鍵田ポンプ場	ポンプ容量 2.8m³/s 2台	豊橋市						167					
1-A-6	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	中島処理場(水質保全・資源循環)	沈砂掻揚設備、場内整備、汚泥濃縮設備	豊橋市						93					
1-A-7	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	富士見台処理場(水質保全・資源循環)	電気設備、汚泥処理施設	豊橋市						6					
1-A-8	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	合流	新設	中島処理区(水質保全)	スクリ-10箇所、貯留施設3箇所	豊橋市						231		策定済	合流改善		
1-A-9	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	新設	前田南調整池(浸水対策)	貯留量 3,600m³	豊橋市						839					
1-A-10	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	汚水	改築	寺沢ポンプ場(未普及解消)	汚水中継ポンプ一式	豊橋市						11					
1-A-11	下水道	一般	豊橋市	間接	民間	雨水	-	雨水流出抑制施設整備(浸水対策)	浄化槽の雨水転用 200基	豊橋市						6		策定済	新世代		
1-A-12	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	改築	有楽ポンプ場	非常用発電設備	豊橋市						48					
1-A-13	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	水処理	改築	豊南処理場(水質保全)	汚泥掻寄機 1台	豊橋市						17					
1-A-14	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	合流	改築	老朽管調査(管渠調査)	花田、向山地区、梅敷地区分区分区 L=18,430m	豊橋市						16					
1-A-15	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	雨水	増設	羽根井排水区(浸水対策)	放流渠 L=120m	豊橋市						497					
1-A-16	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	汚水	改築	富士見台中継ポンプ場(長寿命化)	非常用発電設備	豊橋市						47		策定済	長寿命化		
1-A-17	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	下水道総合地震対策計画(地震対策)	総合地震対策計画策定、耐震調査	豊橋市						134		策定済	総合地震		
1-A-18	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	中島処理場(長寿命化)	長寿命化計画策定	豊橋市						31		策定済	長寿命化		
1-A-19	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	富士見台処理場(長寿命化)	長寿命化計画策定	豊橋市						21		策定済	長寿命化		
1-A-20	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	中島処理場耐震整備(地震対策)	実施設計	豊橋市						12		策定済	総合地震		
1-A-21	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	富士見台処理場耐震整備(地震対策)	実施設計	豊橋市						15		策定済	総合地震		
1-A-22	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	下水道管渠耐震整備(耐震対策)	実施設計	豊橋市						19		策定済	総合地震		
1-A-23	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	下水道管渠長寿命化対策(長寿命化)	基本構想策定業務	豊橋市						0		未策定	長寿命化		
											合計					3,558					

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
合計															0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
1-C-1	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	新設	雨水貯留事業	地下貯留 1 箇所 660m ³	豊橋市						71			
1-C-2	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	改築	老朽管調査(管渠調査)	花田地区 L=11,330m	豊橋市						22			
1-C-3	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	改築	下水道業務継続計画(BCP)	下水道業務継続計画策定	豊橋市						3			
合計															96			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
1-C-1	雨水流出抑制施設整備(1-A-1)にあわせ、下水道計画区域内に雨水貯留施設を設置することにより、雨水の流出を抑制しさらなる浸水被害の軽減を図る。																	
1-C-2	老朽管調査(基幹事業対象)(1-A-14)と合わせて調査を実施することにより、調査範囲を拡大し老朽化対策の向上を図る。																	
1-C-3	下水道総合地震対策計画(基幹事業対象)(1-A-17)と合わせて下水道の業務継続計画(BCP)を策定することにより、災害時における減災・防災対策の向上を図る。																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 合流式下水道の改善により、下水道施設の質的向上が順次図られている。 雨水整備により、浸水のない安全安心な市民生活の確保が順次図られている。 非常用発電設備の更新により、停電等の非常時における必要な電源確保が順次されている。 									
II 定量的指標の達成状況		指標①(合流式 下水道の改善された区域面積の割合)	最終目標値	24.2%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。							
			最終実績値	24.2%									
		指標②(都市浸 水対策で整備が完了している面積の割合)	最終目標値	69.1%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。							
			最終実績値	69.1%									
		指標③(非常用 発電設備の更新割合)	最終目標値	50.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。							
			最終実績値	50.0%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				<ul style="list-style-type: none"> 計画的な処理場施設及びポンプ設備の更新及び増設により、必要な能力が順次確保されている。 下水道施設の耐震化工事に向けた、実施設計を行った。 50年以上経過管の調査及び対策を計画的に実施したことで、道路陥没等の事故防止に寄与することができた。 									
3. 特記事項(今後の方針等)													
<ul style="list-style-type: none"> 合流改善事業については平成35年度が期限となっており、今後貯留施設の建設など大きな事業が控えているため、効率的な整備手法を検討し、事業を実施していく。 老朽化の進んだ施設が今後急激に増加すること、また耐震性能を有していない施設が依然として多数あることから、持続的な下水道を実現するため、継続して施設の老朽化対策及び地震対策を推進する。 													

計画の名称	1 安全・安心で快適な暮らしを支える下水道整備の推進	交付対象	豊橋市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		

